

生涯学習事業運営における重点項目の評価

(重点項目1) 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進(⇒基本目標1)

指標1 生涯学習センターの利用者数

基準値(H28) 740,862人 ⇒ 目標値(R4) 772,528人

単位:人数(延数)

指標1	H28(基準値)	R1年度	R2年度	R3年度
単年度目標値	-	756,529人	761,825人	767,158人
実績値	740,862人	779,456人	308,467人	413,212人
講座参加者数	20,167人	17,074人	4,634人	7,195人
施設利用者数	720,695人	762,382人	303,833人	406,017人
単年度の達成度	-	103%	40.5%	53.9%

指標2 生涯学習センターにおける講座の開催数

基準値(H28) 141講座 ⇒ 目標値(R4) 150講座

指標2	H28 (基準値)	R1年度		R2年度		R3年度	
	講座数 (実施回数)	講座数 (実施回数)	満足度	講座数 (実施回数)	満足度	講座数 (実施回数)	満足度
単年度 目標値	-	145講座	-	147講座	-	148講座	-
実績値	141講座 (600回)	129講座 (537回)	97.5%	67講座 (196回)	97.7%	109講座 (407回)	97.2%
成人 対象	69講座 (292回)	64講座 (264回)	97.6%	35講座 (115回)	97.5%	56講座 (205回)	97.3%
子育て 世代 対象	41講座 (196回)	33講座 (184回)	98.9%	19講座 (59回)	98.1%	30講座 (134回)	99.3%
青少年 対象	31講座 (85回)	32講座 (89回)	96.6%	13講座 (22回)	98.3%	23講座 (68回)	94.7%
単年度 達成度	-	88.9%	-	45.6%	-	73.6%	-

満足度=「満足」「やや満足」と回答した受講者の割合

【重点項目(1)の評価】

- 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染拡大が落ちついた時期での講座の開催やZoomやYoutube等のICTを活用した講座の配信など、実施方法等の工夫をしながら取り組みを続けた結果、昨年度よりも利用者数及び講座開催数が増加した。

講座開催数については、実績値が目標値に達してはいないが、受講者の満足度は9割を

大きく超えていることから、個々の講座内容が充実しており、受講者も満足して講座を受講することができていると考えられる。

(ICTを活用した講座の実績：R元年度1講座⇒R2年度10講座⇒令和3年度14講座)

(ICT関連講座：令和2年度3講座⇒令和3年度8講座)

(重点項目2) 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 (⇒基本目標Ⅱ)

指標3 子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数

基準値 (H28) 7,660人 ⇒ 目標値 (R4) 7,900人

指標3	H28 (基準値)	R1年度		R2年度		R3年度		
	参加者数 (講座数)	参加者数 (講座数)	満足度	参加者数 (講座数)	満足度	参加者数 (講座数)	満足度	
単年度 目標値	-	7,780人	-	7,820人	-	7,860人	-	
実績値	7,660人 (41講座) ※うち子ども 3,796人	5,219人 (33講座) ※うち子ども 2,727人	98.9%	735人 (16講座) ※うち子ども 345人	99.3%	2,212人 (30講座) ※うち子ども 1,063人	99.3%	
単年度の 達成度	-	67.0%	-	9.4%	-	28.1%	-	
参考	交流 仲間 づくり	7,609人 (39講座) ※うち子ども 3,503人	4,839人 (29講座) ※うち子ども 2,554人	98.8%	749人 (15講座) ※うち子ども 385人	99.5%	1,831人 (24講座) ※うち子ども 886人	99.5%

指標4 学校、地域、企業等と連携した講座の参加者数 (子育て世代・青少年対象)

基準値 (H28) 3,410人 ⇒ 目標値 (R4) 3,500人

指標4	H28 (基準値)	R1年度		R2年度		R3年度		
	参加者数 (講座数)	参加者数 (講座数)	満足度	参加者数 (講座数)	満足度	参加者数 (講座数)	満足度	
単年度目標値	-	3,455人	-	3,470人	-	3,485人	-	
実績値	3,410人 (25講座)	3,118人 (27講座)	98.5%	788人 (17講座)	98.4%	1,293人 (19講座)	97%	
	子育て世代 対象事業	2,735人 (12講座)	1,559人 (9講座)	98.0%	340人 (7講座)	98.9%	592人 (7講座)	100%
	青少年 対象事業	675人 (13講座)	1,559人 (18講座)	98.0%	448人 (10講座)	97.9%	701人 (12講座)	96.6%
単年度の達成度	-	90.5%	-	22.7%	-	37.1%	-	

【重点項目（２）の評価】

- 「子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数」については、実績値が目標値に達してはいないが、家庭教育支援を重視したりトミックや体操などの親子で交流する講座や、コロナ禍でもできるおうち遊びや保健師によるミニ講座、アンガーマネジメントなど、子育て支援に特化した講座を開催した。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大や仕事等で参加が難しい受講者を考慮し、オンラインと集合型を組み合わせた講座も開催することで、昨年度よりも参加者数及び講座数が増加した。
- 「学校、地域、企業等と連携した講座の参加者数」については、外国人との交流や科学実験、勾玉づくりなど、日常生活ではできない体験学習講座を開催した。また、地場食材を使用した料理教室や伝統文化体験など、仲間とともに地域への理解や郷土に対する愛着や誇りを持ってもらうことを目的とした講座を開催し、教育活動推進や地域理解に取り組んだ。こうしたことから、講座参加者数としては目標値に達してはいないが、様々な知識や技術をもった企業や大学等の多様な主体との連携が図られたと考えられる。
(連携団体数：令和２年度 11 団体⇒令和３年度 16 団体)

（重点項目３） 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実（⇒基本目標Ⅲ 指標５ （再）生涯学習センターの利用者数

基準値（H28） 740,862人 ⇒ 目標値（R4） 772,528人

指標5	H28(基準値)	R1年度	R2年度	R3年度
単年度目標値	-	756,529人	761,825人	767,158人
実績値	740,862人	779,456人	308,467人	413,212人
講座参加者数	20,167人	17,074人	4,634人	7,195人
施設利用者数	720,695人	762,382人	303,833人	406,017人
単年度の達成度	-	103%	40.5%	53.9%
参考	地域理解を促す講座(参加者数)	775人	790人	848人
	地域理解を促す講座(講座数)		35回	23回

単位：人数(延数)

指標6 生涯学習センターにおける学習相談件数（来館，電話）

基準値（H28） 390件 ⇒ 目標値（R4） 390件

指標6	H28(基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	
単年度目標値	-	390件	390件	390件	
実績値	390件	322件	216件	261件	
単年度の達成度	-	82.6%	55.4%	67%	
参考	マナビスにおける情報登録件数(講座・団体・講師情報など)	5,075件	5,437件	4,633件	4,721件
	マナビスのアクセス件数	11,493件	17,849件	13,020件	9,284件

※生涯学習情報提供システム(マナビス)

生涯学習関連情報である、講座情報、イベント情報、施設情報、団体情報、講師情報などを、インターネットにより提供している生涯学習情報提供システム

◆学習相談件数（令和3年4月～令和4年3月）

	来館	電話	ファックス	Eメール	その他	計	簡易 問い合わせ 件数
R2 年度	138件	77件	0件	1件	0件	216件	732件
R3 年度	160件	99件	0件	2件	0件	261件	521件

【重点項目（3）の評価】

- 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染拡大が落ちついた時期での講座の開催やICTを活用した講座の配信など、実施方法等の工夫をしながら取り組みを続けた結果、昨年度よりも利用者数及び講座開催数が増加した。
また、地域理解を促す講座では、受講者数が848人（令和2年度790人）と昨年度より増加しており、新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも、地域課題の解決や地域づくりの促進に取り組んだ。
- 学習相談に関しては、60～70代の相談者から、主にサークル団体（スポーツ・音楽・芸術など）について、来館や電話による相談が多く寄せられている。相談内容としては、退職し、時間があるためサークル活動に参加したい、引っ越してきたため、新しい趣味などを始めたいといったものが見受けられるほか、昨年度よりも実績値が増加し、達成度も上昇していることから、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でも、学習活動に取り組みたい地域住民が増加していると考えられる。
- 地域の学習拠点として、マナビスの定期的な登録情報の更新を継続し、幅広い最新の学習情報の収集・提供に努め、相談者を様々な活動へ結びつける情報提供・学習相談を推進していく。
また、子どもから大人までより多くの市民の主体的な生涯学習活動を支援するよう、各種メディアをより効果的に活用するなど、生涯学習センター事業やマナビスの認知度向上に向け更なる取組の強化を図っていく。